

「キャリア発達と社会参加」

日時	平成29年9月12日(火)		受講者	11名
目的	キャリア発達の視点から演習とケース検討を通して、授業実践に向けた研修を行い、指導力の向上を図る。			
講義1	「特別支援教育におけるキャリア教育の現状と課題」		特別支援教育センター	指導主事 大竹 奈保子
実践発表	「特別支援学校における社会参加への取組・進路指導の実際」		須賀川支援学校	教諭 杉山 渉 氏
講義2・演習	「キャリア発達の視点からの授業充実」		特別支援教育センター	指導主事 大竹 奈保子 特別支援教育センター 指導主事 林 裕子
<p><講義1> 「特別支援教育におけるキャリア教育の現状と課題」</p> <p>国立教育総合研究所の「PDCAでみるキャリア教育推進状況チェックシート」を用いた自校の取組の確認とともに、キャリア教育の定義・理念や新学習指導要領での位置付け、定義・理念、実践例等の確認を行いました。参加者は、キャリア教育の意義についてあらためて考えました。</p>		<p><講義2・演習> 「キャリア発達の視点からの授業充実」</p> <p>持参した年間指導計画について基礎的・汎用的能力の観点からチェックし、児童生徒のキャリア発達を育む取組について検討する講義と演習を行いました。演習でのグループ協議では、活発に意見交換を行いながらキャリア発達の視点での取組を見直す大切さを学びました。</p>		
<p><実践発表> 「特別支援学校における社会参加への取組・進路指導の実際」</p> <p>進路指導主事という立場から須賀川支援学校の杉山教諭よりキャリア教育に関する取組について発表をいただきました。小学部・中学部・高等部が連携した実践、各学部で育みたい力、進路指導として行っている取組や授業等について話がありました。また、キャリア教育を進める上でポイントとなる事項、杉山教諭が日頃の実践で大切にしていることなどについても具体的にお話いただきました。学校全体で組織的にキャリア教育に取り組むこと、児童生徒一人一人のキャリア発達を育てていくことの重要性を感じる貴重な時間となりました。</p>		   		
受講者の感想				
<ul style="list-style-type: none"> ○ キャリア教育を見直す（学び直す）機会となった。（特別支援学校教諭） ○ 基礎的・汎用的能力について具体的な話を聞くことができ、自分の中で整理することができた。（特別支援学校教諭） ○ 「進路＝仕事」と考えがちだが「進路＝生活全般」と考えることができた。また、キャリア教育は、ブームが去った感じがあったが、ブームとは無関係であり大切なことであると分かった。（特別支援学校教諭） ○ 演習を通して、自分の授業を振り返ったり、整理したりすることができた。単元にキャリア発達の視点が入っていることを確認できた。（特別支援学校教諭） ○ 年間指導計画をキャリア発達の視点で見直すことができた。（特別支援学校教諭） ○ 実践発表で話があった「夢を実現＝希望する生活」を大切にし、児童生徒の進路実現に向けて取り組んでいきたい。（特別支援学校教諭） ○ キャリア教育を踏まえて授業のねらいを明確にし、内容を組み立てていきたい。（特別支援学校教諭） 				